

【被爆70年のつどいに寄せられた賛同メッセージの一部をご紹介します】★

(敬称略、順不同)

小林 節(慶応大学名誉教授、弁護士)被爆70年のつどいよびかけ人

日本国からは正当な補償と謝罪を、世界からは非核の良心を、若い世代からは不戦の決意を私たちの努力で勝ち取りたい。

瑞慶山 茂(弁護士、沖縄・民間戦争被害者の会顧問弁護士)被爆70年のつどいよびかけ人

全民間戦争被害者の救済を！ 国家補償制度の確立を！

濱谷 正晴(一橋大学名誉教授)被爆70年のつどいよびかけ人

〈原爆死者〉たちに思いを馳せよう！ かれらの〈死〉とそこにいたる〈生〉とを知ろう！ その証は私たちの手の届くところに、無数にある。

舟橋 喜恵(広島大学名誉教授)被爆70年のつどいよびかけ人

「被爆者ととともにあゆむ」これが日本の将来をきめるスローガンです。

有原 誠治(映画監督、被爆者の声をうけつぐ映画祭実行委員長)

被爆者の70年の歩みは、私たちの道標です。被爆者の声は、核時代を終わらせるための希望です。それを次世代に繋ぐために、微力ながら力を尽くしたいと思います。

宇都宮 健児(弁護士、元日本弁護士連合会会長)

今年は戦後70年、節目の年です。戦争関連法案が国会に提出され、審議されている現在、正に「戦前」にしないために歴史を振り返ることが極めて重要な課題になっていると思います。

小野寺 利孝(弁護士、上野の森に「広島・長崎の火」を永遠に灯す会理事長)

今日こそ「広島・長崎」の歴史認識が鋭く問われています。集会の問いかけを深め、認識を共有することこそ、今後の反核・平和のたたかいに必要とされる力ではないでしょうか。

鎌田 慧(ルポライター)

被害者の補償もせず、また戦争を始めようとする安倍政権に強く抗議します。

鈴木 瑞穂(俳優)

1945年8月6日広島での原爆炸裂を江田島から目撃した者として、今国会で問題になっている「戦争法案」は絶対に許せません。「戦争を知らず、歴史からも学ばず、未来への想像力にも欠けた」愚劣な政治家も許せません！

野口 聡一(宇宙飛行士)

世代を超えて、日本、そして世界中の皆さんが想いを一つにして「平和のために今できることは何だろうか」と考え、行動しましょう。皆さんの行動が、「人類愛」と「寛容」を基にした真の国際平和に繋がることを心からお祈りしております。

渡辺 えり(俳優)

戦争を起こすのも止めるのも人間。私たち一人一人がやめようと思えば、やめられるはず。正義のための戦争などはありません。

株式会社こまつ座

被爆70年、戦後70年。難しいことでなく、大切な人に何を残していきたいのか、考える一年にしたいです。

日本平和委員会

被爆70年を核兵器廃絶への転機の年に！ 戦後70年を憲法を守り活かす年に！

美術家平和会議

歴史を省みない政治に怒りを覚えます。今こそ広島・長崎に学び、戦争をしない国にしましょう。